

【別表D】 2027年度 データ・資料一覧表

地震研究所の「公開データベース」<https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/publication/>もご参照ください。

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
2027-D-01 WWSSN地震記象マイクロフィルム/フィッシュ	○古地震・古津波記録委員会(加納 靖之)	要予約。用紙等については予約時に問い合わせを欲しい。 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/wwssn/filmlist.html	随時
2027-D-02 歴史地震記象	○古地震・古津波記録委員会(加納 靖之)	原則としてマイクロフィルムを利用。原記録は職員立ち合いのもとで利用すること。 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/susu/	随時
2027-D-03 旧測候所報告・古新聞切抜き・国際地震観測報告等	○古地震・古津波記録委員会(加納 靖之)	写真撮影可。ただし、カメラは持ち込むこと。照明・撮影台は備えつけのものを利用可。資料の状態により撮影不可とする場合がある。 旧測候所報告： https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/record-I/index.html 国際地震観測報告： https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/record-W/index.html	随時
2027-D-04 観測開発研究センター地震データ	○観測開発研究センター長	大学間の取り決めに基づいて利用すること。	—
2027-D-05 衛星通信等を用いた全国地震観測システムデータ受信利用	○観測開発研究センター長	「衛星通信地震観測システムデータ受信利用規定」に基づいて申請すること。(様式T-1) http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/data_jushin_riyou.htm	—
2027-D-06 国立大学微小地震観測網カタログ(JUNEC)	○日本列島モニタリング研究センター長	震源データはanonymous FTP で利用可。 ftp://ftp.eri.u-tokyo.ac.jp/pub/data/junec/ 検測データは大学間の取り決めに基づいてCDにて提供可。(ただし、担当教員に利用申請を提出のこと)。	随時
2027-D-07 浅間、伊豆大島、霧島、富士の火山データ	○火山噴火予知研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2027-D-08 広帯域地震波形データ	○海半球観測研究センター長	特になし。 http://ohpdm.eri.u-tokyo.ac.jp/dataset/permanent/seismological/index.html	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
2027-D-09 新J-array地震波形データ	○日本列島モニタリング研究センター長	ホームページから利用可。 http://jarray.eri.u-tokyo.ac.jp/	随時
2027-D-10 1993年日光周辺域合同地震観測データ	○観測開発研究センター長	1993年合同観測参加者。	随時
2027-D-11 強震記録（主として駿河湾、伊豆半島観測網、足柄観測網のデータ）	○古村 孝志	https://smsd.eri.u-tokyo.ac.jp/smad/	随時
2027-D-12 歴史地震の古文書及びその解読文	○加納 靖之	利用条件は特になし。 「東京大学地震研究所図書室特別資料データベース」 https://www.eic.eri.u-tokyo.ac.jp/tokubetsu/ のうち、コレクション名02（-1, 2, 3）の地震史料（一部）のオリジナル（複写等）と解読文。目録提供可。	随時
2027-D-13 地球電磁気データベース	○白井 嘉哉 小山 崇夫	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2027-D-14 八ヶ岳地球電磁気観測所速報データ	○小河 勉	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2027-D-16 日本全国空中写真	○図書室	保有枚数：44,999枚 活断層調査や地震・火山・テクトニクスなどの研究のためであること。図書職員に申し出て利用すること。 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/airphoto/shiryoushitu.htm	随時
2027-D-17 津波波形画像データ	○古地震・古津波記録委員会（加納 靖之）	地震研の公開データベースの津波波形画像検索システム https://www.eic.eri.u-tokyo.ac.jp/tsunamidb/ から利用すること。	随時
2027-D-18 超伝導重力計観測データ	○今西 祐一	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2027-D-19 首都直下地震防災・減災特別プロジェクトデータ(2008-2011)	○観測開発研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせること。 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/shuto/index.html	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件、データ及び資料に関するURL等	申請期限
2027-D-20 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクトデータ(2012-2016)	○観測開発研究センター長	事前に担当教員と打ち合わせること。 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/toshi/	随時
2027-D-21 むかしの地震の被害のデジタルデータ	○加納 靖之	位置情報とセットになった家屋被害情報のデジタルデータ。対象となる地震は大正関東地震など。事前に担当教員と打ち合わせること。	随時

【別表F】 2027年度 施設・観測機器・実験装置等一覧表

(観測施設)

共同利用コード 及び名称	観測施設に関する情報	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-F1-01 地震観測施設	油壺地殻変動観測所 鋸山地殻変動観測所 和歌山地震観測所 広島地震観測所 信越地震観測所 富士川地殻変動観測所 室戸地殻変動観測所 本所周辺観測施設・観測設備 等	○観測開発研究 センター長		－
2027-F1-02 ハヶ岳地球電磁気観測所		○小河 勉	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2027-F1-03 浅間火山観測所 小諸地震火山観測所 伊豆大島火山観測所 霧島火山観測所		○観測開発研究 センター長		－

(野外観測機器等)

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-F2-01 衛星通信等を用いた全国 地震観測システムデータ 受信専用装置	http://eoc.eri.u- tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/da ta_jushin_riyou.htm 1 式	○蔵下 英司	設置、設定、維持は利用者 で行うことが条件である が、事前に担当教員と打ち 合わせること。別途、デー タ受信に関する利用申請が 必要。	随時
2027-F2-02 移動用地震観測機器 (衛星・地上テレメータ 装置、地震計、データロ ガー)	http://eoc.eri.u- tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/vsa t_riyou.htm 1 式 http://eoc.eri.u- tokyo.ac.jp/eisei_system/riyou/chi jo_souti.htm	○蔵下 英司	担当教員とよく連絡をとる こと。特定共同研究で使用 中は利用できないことがあ る。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-F2-04 高精度広帯域MT観測装置	1)本体部 <i>Metronix社</i> ADU07e観測装置 22 台 ADU08e観測装置 2 台 <i>NTシステムデザイン社</i> ELOG-MT 7 台 ELOG1K 17 台 2)誘導コイル <i>Metronix社</i> MFS06 21 本 MFS07 4 本 MFS06e 22 本 MFS07e 45 本 MFS12e 3 本 <i>Phoenix社</i> MTC50 3 本 磁場3成分、電場2成分を測定可能。サンプル周波数は、ADU07(e)は524KHzより2^n Hz。 Phoenix社の装置はコイルのみ。 あわせて、電位測定用電極(ハンガリーMLタイプ)、リチウムバッテリー、大容量鉛蓄電池(G&Yu SMF27MS-730)などの付属品も多数貸出可能。	○臼井 嘉哉 小山 崇夫	事前に担当教員と打ち合わせる。共同観測等での使用期間を除く。	随時
2027-F2-06※ 海底地殻熱流量測定装置一式	複数の温度センサーを取り付けた 1 式 プローブを海底に突き刺すことにより、温度勾配を測定し、地殻熱流量を求めるための装置。重錘、プローブ、温度センサー、データロガー、ピンガーからなる。 この他、別途採取した海底堆積物 1 台の熱伝導率を測定するための、「迅速熱伝導率計」(京都電子QTM-500)も利用可能である。	○篠原 雅尚	同種の装置の使用経験者または共同研究に限る。	随時
2027-F2-07 可搬型広帯域地震観測システム(1)	広帯域地震計: CMG3T, STS2 29 セット 収録計: REFTEK130 合計	○一瀬 建日 竹尾 明子	取得したデータは、観測終了後一定期間(2~3年)の後、地震研究所・海半球観測研究センター・データセンターから公開することとする。 事前に担当教員と打ち合わせる。	随時

別表F

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-F2-08※ 可搬型広帯域地震観測シ ステム(2)	ナネメトリクス社（カナダ） 14 台 広帯域地震計 Trillium120PA	○行竹 洋平	事前に担当教員と打ち合わ せること。	随時
2027-F2-09※ 絶対重力計	Microg-LaCoste（米国） 2 台 FG5型絶対重力計 公称精度1-2microgal	○今西 祐一	事前に担当教員と打ち合わ せること。	随時
2027-F2-10※ ラコステ重力計	LaCoste&Romberg社（米国）ス 2 台 プリング型相対重力計（陸上用） 公称精度10microgal	○今西 祐一	貸出しの際、必要に応じて 講習を受けること。	随時
2027-F2-11※ 可搬型強震観測システム	可搬型強震観測システム （SMAR-6A3P改） アンプ搭載筐体 14 台 （センサーは全てアカシ製 JEP-6A3P；1V/G） アンプ無し筐体 5 台 （センサーは全てアカシ製 JEP-6A3P；10V/G） ロガー 白山工業製 LS-7000XT 10 台	○古村 孝志	事前に担当教員と打ち合わ せること。	随時
2027-F2-12 火山ガス観測システム	火山ガス観測システム 1 台	○森田 雅明	事前に担当教員と打ち合わ せること。	随時
2027-F2-13 超長周期電磁場測定装置	ウクライナ製フラックスゲート磁力計MT観測 装置 LEMI-417 6 台 テラテクニカ製フラックスゲート磁力計MT観 測装置 U43 12 台 U36MD 3 台 UY44 1 台 LEMI:磁場3成分電場4成分を毎秒測定 U43:磁場3成分電場2成分を毎秒測定 U36MD:磁場3成分電場2成分を毎秒測定 UY44:磁場3成分傾斜2成分を毎秒測定	○臼井 嘉哉 小山 崇夫 清水 久芳	事前に担当教員と打ち合わ せること。共同観測等で使 用中の期間を除く。	随時
2027-F2-14 高精度方位決定ジャイロ 装置	SOKIA社製GP1X手動ジャイロス 1 式 テーション 測定精度は20秒角。	○臼井 嘉哉 小山 崇夫 清水 久芳	事前に担当教員と打ち合わ せること。	随時

別表F

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-F2-16 空中計測用機材	DJI社製Matrice 400 1 式 DJI社製Zenmuse H30T 1 台 DJI社製Zenmuse L2 1 台 DJI社製Zenmuse L3 1 台 Gem Systems社製GSMP-35Uドローン搭載仕様 1 式 メーカーサイトURL Matrice 400: https://enterprise.dji.com/matrice-400 Zenmuse H30T: https://enterprise.dji.com/zenmuse-h30-series Zenmuse L2: https://enterprise.dji.com/zenmuse-l2 Zenmuse L3: https://enterprise.dji.com/zenmuse-l3 GSMP-35U: https://www.gemsys.ca/uav-magnetometers/ 対応ドローン機体 Zenmuse H30T: DJI M400, M350RTK, M300RTK + DJI RC Plusコントローラ Zenmuse L2: DJI M400, M350RTK, M300RTK + DJI RC Plusコントローラ Zenmuse L3: DJI M400 GSMP-35U: DJI M400, M350RTK, M300RTK	○小山 崇夫 大湊 隆雄	事前に担当教員と打ち合わせる。	随時

(室内実験計測装置等)

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-F3-01 制御震源装置一式	IVI社製油圧バイブレーター震源 1 式 T-15000	○石山 達也	機器の取り扱いに習熟していること。事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2027-F3-02 日本列島モニタリング研究センター計算機システム	https://eic-support.eri.u-tokyo.ac.jp 1 式	○日本列島モニタリング研究センター長	学術研究と認められないもの、本所設置目的から著しく外れているものは利用できない。詳細は本センター利用規定による。共同利用経費を必要としない場合は、直接本センターに利用申請する。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-F3-03 岩石破壊実験装置一式 荷重及び変位信号AD変 換・処理装置	https://www.eri.u- tokyo.ac.jp/gijyutsubu/jikken/ 1 式	○中谷 正生	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2027-F3-05 蛍光X線分析装置	RIGAKU社製 1 台 波長分散型蛍光X線分析装置 ZSX Primus II	○前野 深	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2027-F3-06※ <u>地震計測定震動台</u>	エミック社振動試験装置F- 1 台 1400BD/LAS15 水平あるいは垂直の1軸電磁式振 動台。	○新谷 昌人	使用説明と日程等の調整の ため事前に担当教員に連絡 すること。装置は自己運転 を原則とする。	随時
2027-F3-07※ <u>レーザー発振装置</u>	ネオアーク社波長安定化レーザー 1 式 波長633nmの赤色光の安定化レー ザー光源。	○新谷 昌人	事前に担当教員と打ち合わせが必要。	随時
2027-F3-08 全国地震データ等利用シ ステム装置	全国地震データ等利用システム装 8 式 置	○日本列島モニ タリング研究セ ンター長	全国の地震波形データ等を 整備し提供する装置。地震 観測を実施している全国の 大学に設置され共同で運用 されている。担当教員との 相談による。	随時
2027-F3-09 カールフィッシャー水分 計	京都電子工業株式会社製 カールフィッシャー水分計(電量 滴定方式) <MKC-610> 1 台 https://www.kyoto-kem.com/en/product- category/karl/ 鉍石用水分気化装置 <ADP-512> 1 台 https://www.kyoto- kem.com/ja/product/adp512/	○三部 賢治	機器の取り扱いに習熟して いること。事前に担当教員 との打合せが必要。実験消 耗品については各自用意す ること。	随時
2027-F3-10 湿式レーザー粒度分析計	Sympatec社製レーザー回折式粒度 1 式 分析装置HELOS/KF-RODOS- QUIXELシステム https://www.sympatec.com/JP/LaserDiffracti on/f-series/HELOS.html	○前野 深	使用説明と日程等の調整の ために事前に担当教員との 打合せが必要。	随時
2027-F3-11※ <u>温度計校正器一式</u>	フルーク社 1586A, 9142, 7103他 1 セット 恒温槽(-30℃から150℃)や温度 計の出力信号をスキャンする一連 の機器。	○中谷 正生	使用説明と日程等の調整の ため事前に担当教員に連絡 すること。装置は自己運転 を原則とする。	随時

共同利用コード 及び名称	機器に関する情報 (型番、台数、機器情報URL等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-F3-12 大規模連続地震波形データ解析システム	全国の地震波形データを格納し、 1 式解析する装置。 ユーザ自らがプログラムを作成して解析を行う。最低限のツールのみ用意されている。	○中川 茂樹	装置の利用は事前に担当教員と打ち合わせ、日本列島モニタリング研究センター計算機システム（2026-F3-02）の利用申請を済ませていること。データの利用については、大学間の取り決めに基づいて、別途所要の手続きを行うこと。	随時

※地震研共同利用HPにて、写真やカタログ等、より詳細な情報を掲載しています。

【別表M】 2027年度 特定機器 一覧表

本別表に記載の特定機器について、2 ヶ月以上の長期利用を希望する場合には、利用希望年度の前々年度2月頃に行われる特定機器利用公募に申請してください。2 ヶ月未満の短期利用については、随時、申請を受け付けています。

(特定機器)

共同利用コード 及び機器名称	機器に関する情報 (型番、台数等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-M-01 低消費電力型データロガー	HKS-9700a-0505 30 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-02 HKS-9700a-0505専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite Mk II 20 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-03 HKS-9700a-0505専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkIII 10 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-04 小型データ収録装置(ペリカンBOX入り)	LS-8800 52 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-05 LS-8800(ペリカンBOX入り) 専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkIII 59 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-06 小型データ収録装置 (青色コンテナ入り)	LS-8800 35 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-07 LS-8800 (青色コンテナ入り) 専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkII 35 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-08 LS-8800 (青色コンテナ入り) 専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkIII 10 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-09 単チャンネル式高精度データ収録装置	LS-8200SD 174 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-10 LS-8200SD専用地震計 (4.5Hz, 上下動成分)	SG820 175 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-11 独立型地震観測装置	GSX-3 50 台	○蔵下 英司		随時

共同利用コード 及び機器名称	機器に関する情報 (型番、台数等)	担当教員 (○責任者)	利用条件等	申請 期限
2027-M-12 GSX-3専用地震計 (4.5Hz,3成分)	GS-11D-3C 50 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-13 GSX-3専用地震計 (1Hz, 3成分)	GS-1 3C SeisMonitor 2 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-14 GSX-3専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkII 54 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-15 GSX-3専用レナーツ地震計(1Hz)	LE-3Dlite MkIII 10 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-16 Nanometrics データロガー	Centaur digital recorder 6 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-17 広帯域地震計	Trillium-120PA 6 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-18 広帯域地震計	Trillium-120QA 15 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-19 地震火山観測用計測ユニット (コントローラ)	LF-1100R 9 台	○蔵下 英司		随時
2027-M-20 地震火山観測用計測ユニット (デジタイザ)	LF-2100R 9 台	○蔵下 英司		随時